

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

○現状

国土交通省の「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の中間とりまとめに基づき、利用者が1日10万人以上の駅およびオリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅に整備を進めてきた。10万人以上の駅については6駅中5駅で、オリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅については対象となる1駅で、既に整備が完了している。

○課題

ホームドアの荷重に耐えるためのホーム補強やホーム改修が必要になるなどの技術的課題のほか、停車時分の増延による列車遅延発生が懸念されること、ホームドアの設置だけでなく維持管理にも多額の費用が必要になること。

○目標

引き続き、利用者が1日10万人以上の駅に整備を進めていく。

10万人未満の駅については、乗換によりホームが混雑している駅や駅周辺の特性を踏まえ、優先度を整理しながら全駅にホームドアを整備するための検討を進める。

②各駅の計画

<優先駅(利用者10万人未満)>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (令和4年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
飛田給駅	京王線	平成29～令和2年度	東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場最寄り駅	—	整備済み
笹塚駅	京王線	令和3～5年度	高齢者福祉施設、保育所等が集積	都営新宿線方面乗換駅 島式ホーム2面4線 京王ライナー通過駅	全番線未整備
久我山駅	井の頭線	令和4～5年度	盲学校が立地	島式ホーム1面2線	全線未整備

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和4年3月末時点)
下北沢駅	井の頭線	令和1～3年度	全番線整備済み
明大前駅	京王線井の頭線	京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の進捗にあわせて整備	全番線未整備